

—スタッフ—

役 職	スタッフ名
技術科長	河野 栄治
統括主査	中西 潤
技術主査	中谷 暁洋
学術主査	岩本 匡
主 査	為廣 理沙子
	町田 麻実
	小谷 哲也
	吉田 光海
	佐々木 啓人
	奥田 重之 (2014年4月採用)
	三角 定弘 (2014年4月採用)
	中平 大志 (2014年6月採用)
	坂元 弘美 (2014年9月採用)
	金口 優生 (2015年1月採用)
	大埜 将信 (2015年3月退職)
	田村 瑞紀 (2014年9月退職)
	坂井 豪心 (2014年7月退職)

—概要—

2014年度は「奥田重之」「三角定弘」を新しく迎え、14名体制でのスタートとなった。また、今年度の業務課題として「血液浄化センター業務の充実」と「日当直」を行える業務体制が大きな課題となった1年でもあった。

組織構造として経験10年以上のスタッフ6名と経験5年未満のスタッフ6名という、中堅層が薄いこともあり昨年度と同様に「臨床工学業務体制の構築とさらなる力量の獲得」を業務指針とした。

また、業務として2月に「りんくう教育研修棟」(サザンウィズ)が設置され、そのシミュレーション機器の一部管理を臨床工学科が担う事となった。

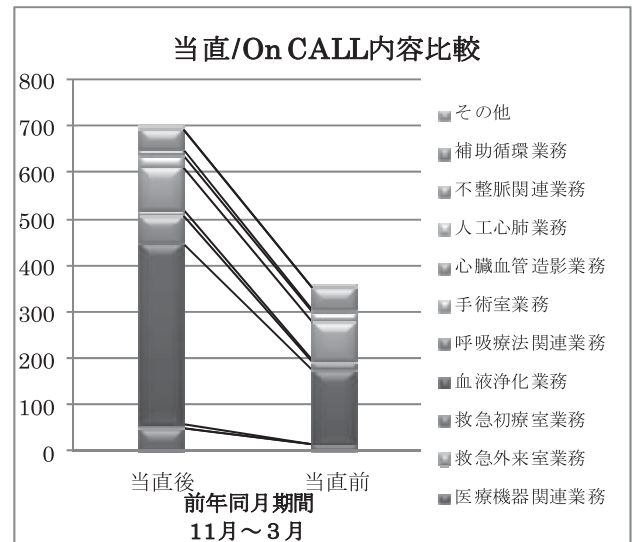
それ以外にも整形外科の自己血回収システムの準備業務依頼やペースメーカの遠隔ホームモニタリングシステム導入等も科として今年度から行った。

スタッフにおいては年度内に3名の退職者が有り、人材確保に奔走したが、年度内に欠員の補充を行うのみに留まる結果となり、日当直業務における人員確保には至らなかった。しかし、スタッフの熱意と協力により、年度始めのスタッフ充実には劣るが、既存スタッフの鋭意努力により年明けを待つことなく11月より当直業務を開始する事が出来た。

血液浄化センターの充実も年度後半には手応えのある成果となった。

従来からの業務全般件数としては、大きく増減した業務はなかったが、当直業務においては業務報告でみると従

来のオンコール対応より昨年度同時期より月に1.3倍から4倍あり中でも、呼吸関連、血液浄化関連はオンコールと比べ著しい増加となった。



また、認定資格においては、「力量の獲得」という基本方針の中、新たに透析技術認定士を4名・3学会合同呼吸療法認定士を2名が新たに取得した。

今年度は臨床工学科の新たな業務体制構築の「礎」的な年度と感じた一年であった。

<取得認定資格>

体外循環技術認定士
3学会合同呼吸療法認定士
不整脈治療専門工学技士
CDR(PM/ICD関連情報担当者)認定
透析技術認定士
アフエーシス技術認定士
臨床ME専門認定士
医療機器情報コミュニケーターMDIC認定

—実績—

【血液浄化関連業務(救命センター含む)】

血液浄化センター血液透析施行回数	1,858件
ICU/CCU血液浄化件数 (持続血液器濾過透析含む)	1,313件 (救命491件含)
特殊血液浄化(血漿交換・血液吸着療法など)	1件
LDL吸着療法	7件
エンドトキシン吸着療法	11件
腹水濃縮再静注法	1件

【体外循環関連業務(救命センター含む)/手術室関連業務】

全体体外循環症例	72症例
(うち緊急症例17症例・準緊急症例4例)	
通常体外循環法	59症例
脳分離体外循環法	12症例
超低体温循環停止法	1症例
Off pump CABG	1症例
EVAR(Endovascular aneurysm repair)	18症例
TEVAR(Thoracic endovascular aortic repair)	12症例
自己血回収業務(体外循環業務及び準備のみに付随するものを除く)	20例

【手術室関連業務】

ラジオ波焼灼療法	11症例
乳腺腫瘍	6例
肝臓腫瘍	5例
自己血回収装置準備(整形外科関連)	50例

【補助循環関連】

経皮的心肺補助症例	33例
大動脈バルーンパンピング症例	61例

【心臓カテーテル検査関連】

循環器カテーテル検査	1,165症例
冠動脈造影	1,013症例
経皮的冠動脈形成術	458症例
緊急カテ症例	215症例
EPS(Electrophysiological study)	10例
血管内検査	
IVUS	444症例
OCT	47症例
FFR	33症例

【不整脈デバイス関連業務】

全埋め込み術症例	66症例
ペースメーカ埋め込み術	35症例
ペースメーカ本体交換術	16症例
埋め込み型除細動器新規埋込術	5症例
両室ペーシング機能付き埋め込み型除細動器新規埋め込み術	6症例
両室ペーシング機能付き埋め込み型除細動器交換術	3症例
埋め込み型ループ心電計新規埋め込み術	1例
遠隔ホームモニタリングシステム導入、実施症例	28症例
ペースメーカ等デバイスチェック(術中・術後・外来・遠隔)	900回

【人工呼吸器・麻酔器関連業務】

内ラウンド回数	103回
RCT(Respiratory Care Team)関連	
患者依頼件数	11件
人工呼吸器離脱件数	4件
SAS(sleep apnea syndrome)関連	
簡易PSG(Poly somnography)検査	76件
終夜経皮的動脈血酸素飽和度測定	6件
フルPSG検査	2件
CPAP(Continuous positive airway pressure)導入	16件
ASV(Adaptive Support Ventilation)導入	6件
HOT(Home Oxygen Therapy)導入	6件

【呼吸関連勉強会】

ラダークリティカルコース	3回
呼吸ケアエキスパートコース	1回
各病棟での勉強会	5回
人工呼吸器関連学習会	合計9回

【機器管理業務】

新規購入物品として登録された機器は	99件
修理依頼件数及び点検件数	1,109件
CE機器(輸液・シリンジポンプ、モニター・ジャクソンリース 等)貸出件数	1,211件
ポンプ使用状況確認ラウンド	54回